

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	白石町立白石小学校
1 前年度 評価結果の概要	・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について、ノート指導や振り返りを中心とした実践の成果が上がっており、学力向上と関連させて取り組みを充実させたい。 ・感染症や自然災害等から身を守るための保健指導や防災教育に今後も継続的に取り組む必要がある。
2 学校教育目標	心豊かに、創造性を発揮し、たくましく生きる子どもの育成
3 本年度の重点目標	①算数科の校内研究を通して授業力向上を図り、児童の学力向上につなげる。 ②1人1台の学習者用端末の効果的な活用による授業の質の向上を図る。 ③感染症防止や自然災害等に備えた指導の充実に努め、健康で安心・安全な学校・家庭生活を推進する。

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・課題を工夫し考えを表現し合う活動を多く取り入れることで、授業改善を図る。 ・教師間でマイプランを共有し、教師一人ひとりが意識して授業に臨む。						
	○校内研究の充実	○「自分の考えを書いたり、話したりすることができる」と答えた児童80%以上 ○授業の振り返りの観点を理解して、振り返りを行うことができた児童が80%以上	・児童が自分の考えをもとに対話的な深い学びができるよう、考えを表現し合う場面を工夫する。 ・「ノート名人」「ふりかえり名人」の観点について全職員で共通理解し、指導に当たる。						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童・保護者80%以上	・ふれあい道徳を実施し、全クラス授業を公開する。 ・授業後ワークシートに感想や振り返りを書かせ、学級だより等で保護者に知らせる。						
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	●いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上 ○いじめ等の対応や指導を適切に行っていると答える保護者が80%以上	・毎月「心のカード」を実施する。 ・人権集会(教室)を計画的に実施する。 ・学級経営案に沿って、学期ごとにPDCAを行う。 ・気になる児童については、毎週水曜日の職員連絡会で共通理解し、対応策について協議する。						
	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進	◎将来の夢や目標に向かってがんばっていると答えた児童80%以上	・将来の夢について考える機会を授業の中で設定する。 ・出前授業等を活用し、専門家の話を伺う機会を設定する。						
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	●規則正しい生活を送ることができた児童80%以上	・9月と1月にはなまるすこやかチェックを実施し、1週間、就寝時刻、朝ごはん、歯みがき、ゲームの時間等について振り返らせる。 ・保護者と連携し、生活の改善につなげる。						
	○運動習慣の改善と体力づくり	○週に3日以上外に出て遊んだり、スポーツをしたりした児童が80%以上 ○外遊びのための具体的な方策を考えている教員が80%以上	・持久走週間や長縄跳び月間など定期的に取り組む。 ・委員会活動で、季節に応じた遊びを紹介する。						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。(1か月:45時間 1年間:360時間)	・学級事務の時間確保のために会議の内容、時間の見直しをする。 ・会議は終了時刻を提示し、時間内に終わるようなタイムマネジメントをする。 ・定時退勤日を決め、遵守する。						
	○学校組織、教職員集団としての働きやすい雰囲気づくり	○働きやすい職場だと答える職員80%以上	・教職員同士の親睦を深めるための会を定期的に開催する。 ・情報を共有する場を設定する。						

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
○地域連携	○学校、家庭、地域が協働した取組の推進	○体験活動が充実していたと答えた児童が80%以上 ○「あいさつ・家庭学習・手伝い・自力登校」ができていると答えた保護者が80%以上	・学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を通して、地域の人材を生かした体験学習を計画する。 ・学期毎のメール配信により保護者への理解・協力を求める。						
○安全教育	○危機対応力の育成	○感染症予防ができていると答えた児童が80%以上 ○自然災害等における避難行動ができる児童が80%以上	・年3回の避難訓練を実施し、職員・児童の危機対応力を高める。 ・月1回の安全点検を確実に遂行する。 ・基本的な感染症予防対策を徹底する。						
○図書館教育	○読書活動の充実	○年間読書100冊に達した児童が90%以上	・多読賞や読書マスターの紹介・表彰、「規定の冊数ごとに花を咲かせる掲示」を継続する。 ・図書館便りなどで学校での読書活動について具体的な実践を知らせる。						

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------